

# 社協VCの在り方

## ～強化方策を見据えて～

### － 開催にあたって －

- 平成 27 年度の制度改正を前に、ますます地域におけるボランティアや社協 VC の存在が注目されています。しかし一方においては、VC は社協の専売特許ではなくなり、存在意義が問われています。
- 今年度の強化方策を見据え、変革期の今だからこそ私たちに求められている役割や機能・強みを見つめ直し、未来の社協 VC の在り方を考える時期がきています。
- 「連携・協働」、「災害時被災者支援・防災」、「財源づくり」をテーマにした 3 つの分科会も設け、これからの社協 VC の活動に活かしていくことを目指したセミナーにします。

**期 日** 平成 26 年 12 月 9 日（火）～10 日（水）

**主 催** 全社協／全国ボランティア・市民活動振興センター

**会 場** 全社協 新霞が関ビル（5 階会議室）（東京都千代田区霞が関 3-3-2）

●地下鉄銀座線「虎ノ門駅」5 番出口より徒歩 5 分

●地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13 番出口より徒歩 8 分

**定 員** 100 名

**対 象** 都道府県・指定都市・市区町村社協ボランティア・市民活動センター職員

**参加費** 8,000 円（宿泊・昼食等は含まない）

※1 日のみの参加でも同額です。ネットワーキングタイム参加費 1,000 円も含まれています。

## 12月9日(火)13:00～18:45 (会場:全社協5階 会議室)

12:00	受付開始
13:00	開会
13:00～13:30 (30分)	開会あいさつ・制度動向 全国ボランティア・市民活動振興センター 所長 佐甲学
13:30～14:30 (60分)	基調講義 「今、社協 VC に求められていること」 日本福祉大学 学長補佐・教授 原田正樹 氏
14:30～15:00 (30分)	説明 「市区町村社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 強化方策 2015 について」 全国ボランティア・市民活動振興センター 副部長 園崎秀治
15:20～17:20 (120分)	シンポジウム 「これからの社協 VC の在り方を考える ～強化方策を見据えて～」  《内容》 「社協における第3次ボランティア・市民活動推進5カ年プラン」については昨年度を もって終期を迎え、今年度は昨年度の「社協ボランティア・市民活動センターの当面の取 り組みの提案」を元に『社協ボランティア・市民活動センター強化方策』を打ち出す予定 である。 介護保険制度改革を控え、地域課題が山積する状況下で、地域における社協 VC の注目 度は益々高まっています。強化方策案の協働・プラットフォームづくりや多方面の関係者 との協働・連携などに焦点をあてて未来の社協 VC の在り方について考えていく時間をご 提供します。  【シンポジスト】 ・日本 NPO センター 事務局次長 坂口和隆 氏 ・大垣市社会福祉協議会 地域福祉課生活支援係 大垣市ボランティア市民活動支援センター 高田薫 氏 ・徳島県社会福祉協議会 とくしまボランティア推進センター所長 福井三希子 氏  【コーディネーター】 全国ボランティア・市民活動振興センター 所長 佐甲学
17:45～18:45	ネットワーキングタイム 情報交換・意見交換・名刺交換など

## 12月10日(水)9:00～12:30 (会場:全社協5階 会議室)

8:30	分科会受付開始 (各会場)
9:00～12:30	分科会

**第1分科会 「地域課題を解決する多職種連携と協働  
～新たなネットワークづくりと広がる社協VCの役割～」**

**【コーディネーター】**  
日本NPOセンター 事務局次長 坂口和隆 氏

**【事例報告者】**  
茨城NPOセンター・コモンズ 事務局長 横田能洋 氏 (地域円卓会議)  
荒川区社会福祉協議会 地域ネットワーク課 課長 鈴木訪子 氏 (荒川区社協の事例)  
新潟市社会福祉協議会 地域福祉課 こども家庭事業推進係長 横尾三代子 氏  
(ごちゃまぜネットワーク)

**《趣旨》**  
生活困窮やひきこもり支援、災害支援等の多様な地域課題を解決するにあたっては、多職種との連携や協働は必要不可欠です。  
しかし、どのように顔の見える協働の関係を構築したらよいか、また、どのようにネットワークの仕掛けづくりに取り掛かればよいか、その糸口を探している社協VCも多いのではないのでしょうか。  
「社協VCが社協そのものをリードする」そのような積極的イメージをもち、また私たちは何を期待されているのかを認識し、連携・協働事例を通じて、未来の社協VCのあり方を考えていきます。

**第2分科会 「これからの地域における災害時の被災者支援・防災のあり方を考える  
～「協働型の災害ボランティアセンター」の実現にむけて～」**

**【コーディネーター】** ウェザーハート災害福祉事務所 代表 千川原公彦 氏

**【事例報告者】**  
前橋市社会福祉協議会 ボランティアセンター 主任 高山弘毅 氏  
那賀町社会福祉協議会 事務局長 平井啓一 氏

**《趣旨》**  
社協が中核を担う災害ボランティアセンターは、地域主体のもと、被災者の個別ニーズに寄り添いながら、多様な地域の関係者と協働して取り組む被災者支援・生活再建を展開するための重要な拠点の一つです。しかし、こうした協働型の災害ボランティアセンターは、平常時の社協活動を通じた地域とのつながりや防災訓練、地元のNPO等関係機関との顔が見える関係があって、初めてその機能が発揮されると考えます。  
実践事例から得られた知見を下に、これからの災害に備え、地元社協でできる被災者支援や平常時からの防災・減災活動は何かを考えていきます。

第3分科会 「VC事業の財源づくりを模索する  
～地域の社会資源を巻き込むファンドレイジング～」

【コーディネーター】 黒部市社会福祉協議会 総務課係長 小柴徳明 氏

【事例報告】

高島市共同募金委員会 橋詰勝代 氏  
「赤い羽根たかしま見守り募金」について

山口県共同募金会 久津摩和弘 氏  
「宇部市一口後見人プロジェクト」  
「しものせき後見人支援プロジェクト」について

など

《趣旨》

地域の多様な生活課題や福祉課題が広がるなかで、新たな社会資源の開発や地域における多様な福祉活動を開発支援し展開するにあたっては、これまでの行政から社協への委託金や補助金に依存した社協VCの運営には限界があります。

地域の社会資源を巻き込んだファンドレイジング（資金調達、財源確保）の実践事例から、社会貢献を通じて社協の新たな財源を模索します。

## ■分科会について

会場の都合により、分科会ごとにご参加いただける人数の制限がありますので、申込書には必ず、第二希望までご記入ください。申し込み状況によっては、第二希望の分科会に振り分けさせていただく場合があることをあらかじめご了承ください。なお、第一希望ではない分科会に入っていた場合、**開催 7 日前までにご通知**します。

## ■申し込み方法

別添申込要領をご参照のうえ、所定の申込用紙に必要事項をご記入いただき、**名鉄観光サービス(株)に郵送または FAX にて送付**ください。**宿泊等の手配がない場合も申込書は同一様式**ですので、必ず**申込書を送付**してください。開催 1 週間前に参加券および振込依頼書を郵送します。到着しなかった場合には名鉄観光サービスにお問い合わせください。

ホームページ「地域福祉・ボランティア情報ネットワーク」(<http://www.zcwvc.net/>)からも要項・申込書をダウンロードできます。ただし、**いずれの場合も申込書は名鉄観光サービス(株)に郵送あるいは FAX にて送付**してください。

## ■申込締切

平成 26 年 11 月 25 日 (火)

- \* 締切日以前でも定員になり次第、締切とさせていただきます。
- \* ただし、締切日以降も定員に達しない場合は、定員に達するまで受け付けます

## ■個人情報について

申込書等に記載された個人情報については、本セミナーの運営目的にのみ使用します。セミナー資料にはお名前、所属、肩書きの一覧表(名簿)を掲載いたします。(年齢、VC 担当経験年数については、分科会グループ編成のために使用し、名簿には掲載いたしません)

なお、事務取扱を委託する名鉄観光サービス(株)と全国社会福祉協議会は個人情報の取り扱いにかかわる覚書をかかわっています。

## ■内容に関する問合せ先

**全国社会福祉協議会／全国ボランティア・市民活動振興センター**【担当：古橋・<sup>かなやち</sup>金谷内】

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL：03-3581-4656 FAX：03-3581-7858 eメール：vc00000@shakyo.or.jp

(申込書はダウンロードもできます→<http://www.shakyo.or.jp/gyoumu/>)

## ■申込先・申込等に関する問合せ先

**名鉄観光サービス(株) 新霞が関支店**【担当：<sup>はたの</sup>波多野・山辺】

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル L B 階

TEL：03-3595-1121 FAX：03-3595-1119

受付時間 平日 9:30～17:30 土日祝祭日休業